

税理士のひとりごと

税理士の佐藤です。

18日のロイター(世界的な通信社)は、米大リーグ(MLB)の公式ウェブサイトに、今オフのフリーエージェント(FA)選手についてポジション別に紹介がありました。DHで大谷翔平選手、先発右腕で山本由伸選手がトップに挙げたと報じました。

世界最高峰の大リーグで日本人がそれも2名同時に有力選手として評価される事は嬉しい限りです。憶測も含めたニュースでは、大谷選手が750億、山本選手が300億での契約が見込まれるとされています。

一方、私たち経営者などを含めて1億円以上の年収を得ている人の割合は全労

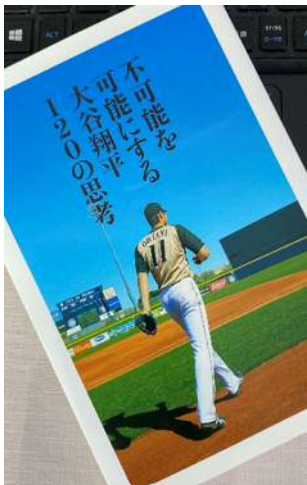
働者の0.03%で、実際数は23,550人(2019年)と一流のスポーツ選手同様、特別の才能をもった選ばれし人のようです。

しかし、スポーツ選手に限らず、給料(報酬)は自社の事業評価としての通知表なので、プロの経営者(社員)として誇れるぐらいの年収を稼げるよう努力を続けたいですね・・・。



「不可能を可能にする」

この言葉は、大谷翔平選手が大リーグに旅立つ前の2017年3月(2018年より大リーグ)に発行された「不可能を可能にする 大谷翔平120の思考(著者 大谷翔平、発行 ぴあ)」本のタイトルです。



そうです、著者が大谷翔平選手なのです。と・・・いう事で今月は当時23歳の大谷君から私たち大人が成功の秘訣を学びます。

高校時代から注目されていた大谷君ですが、「最初に“目標160キロ”と言った時は“無理じゃないか”と言う人たちもいました。そう言われ

ると、絶対やってやるという気持ちになる。刺激というか、やる気になる」と大谷君は反骨心を原動力として自分の限界に挑戦しました。実際、高校3年生の時にアマ野球史上最速の160キロをマークしています。

大谷君は本書で「世界の歴史に残るような記録を作りたい」と語っています。その当時、23歳の大谷君に皆さんもご存じの通り「夢は実現したよ」と伝えたいですね！

「自分で納得して」

大谷君が野球を始めた当初の指導者はお父さんの徹さんです。注目選手になるにつれ、野球経験者、評論家等からアドバイスを受ける事が増えました。大谷君曰く、技術や精神面等でのアドバイスで何が大切かを自分自身で選び取る力がなければ、最短距離

で目標に近づけず右往左往。名も知れないで潰れた選手はこれまで山ほどいます。「自分で納得して実践すれば、自分の責任です」と語っています。さすが、外部のせいにはしないのが大谷君です。

社会に出て数名の上司からまったく異なったアドバイス(説教)に戸惑った経験は私のみならず、皆さんも同じでしょう。



最近、銀行、税務署、顧問先等で人が育つ前に辞めてしまうとの話を聞きます。教える方(上司、先輩)が問題なのか、聞き取れない新人が未熟なのか・・・。

いずれにしても大谷君は栗山監督をはじめ素晴らしい指導者に巡り合ってきたのでしょう。

「先入観は可能を不可能にする」

これは、大谷君が高校時代に「好きな言葉」として挙げたフレーズです。同じ趣旨の言葉として伝説のボクサー、故 モハメド・アリ氏は「不可能とは、自力で世界を切り開く事を放

棄した臆病者の言葉だ。不可能とは、現状に甘んじるための言い訳にしかすぎない。不可能とは、事実ではなく単なる先入観だ」という名言があります。



大谷君がこれを引用したのかどうかは定かでは

ありませんが・・・。

実際、先ほど紹介したように大谷君は 150 キロを目標にすると話したところ、指導者(高校の監督?)から目標を 160 キロにしようと言われ、「最初は無理なんじゃないかと思いました。でも、やっていくうちに手ごたえを感じるようになりました。自分で無理だと思ったら出来なかった、最初から出来ない決めつけるのはやめよう」と考えるようになったそうです。

今は出来ない(仕事を覚えきれていない)社員が、少しずつ、一つずつ成長するよう・・・じ〜と忍耐し、彼らが「自分は出来ない」と思いこまないよう、小さな成功(目標達成)の繰り返しを経験させる事が私たち(経営者、先輩)の役目です。

今月のことば

僕の中にはすごくおっきい理想があるので、そこにひたすら向っていっている。ただそれだけです・・・

(山本由伸:プロ野球選手)

編集後記:

最近・・・日大、相撲協会、ジャニーズ、タカラヅカなど大きな組織の悪しき体質(旧態依然)が明らかになりました。SNS など誰でも情報を発信が可能となる技術革新によりアナログ世代(新聞、TV に依存)を除く・・・人への情報操作が不可能となったからなのでしょう。

一方、私たちも、ポジティブな対応として人手不足を解決するためにもデジタル(AI、DX など)技術の革新に追い付く努力はすべきです。ちなみに・・・高性能パソコン、ディスプレイ、タブレット、高性能複合機(スキャナー)等々は一見高価ですが、時間の節約を考えると人件費よりお得(秘密話)です。しかし、それらの導入についても大谷君のように自分自身で納得しなければ無用の長物です(寿)。